

伊勢崎市優秀学習指導案 小学校

【令和元年度まで】

NO	校種	教科	学年	単元名(題材名)		手立て等	年度	月
1	小	漢・計	2・4・6	漢字・計算練習		個々の興味・感心や能力に応じ、児童にとってわかりやすい支援をする	H21	11
2	小	国語		だれは(が)、なにを、だれに(助詞の使い方)		実際の動作から文を考える活動を体験させて、助詞でよりの確に表させる	H30	10
3	小	国語	1・2・5・6	「毎日の勉強(学習システムを使って)」		「学習システム」によって意欲的に学習に取り組む	H29	10
4	小	国語	1・2・3	ことばすごろくをしよう		発音しながら進むすごろくゲームを通して言葉を覚える学習をする	H29	10
5	小	国語	2・3・5・6	知的障害特別支援学級	お話を楽しもう	お話づくりにおいて、自分や友だちの作品を用いて考えられるようにする	H25	11
6	小	国語	1・2・3・6	役割読みをしよう	「3びきのこぶた」	読み聞かせをしてから役割読みをする	H22	11
7	小	国語	4・6	自己紹介をしよう		例文を提示し、その文章を参考にしながら、内容の一部を自分の事に置き換えてみる	H20	11
8	小	国語	3・6	よんでえらぼう		文字チップによる単語の構成を行い、一文字ずつ丁寧に読む活動をすすめる	H13	6
9	小	国語	3・6	本の紹介(ブックトーク)		ペープサートや紙芝居などを使って発表の練習をする	H10	11
10	小	算数	4・5	わり算		クッキーを用いて等しく分けるという操作活動をさせる	H12	11
11								
12	小	自立	1	コミュニケーション「さ」のつく言葉		自分の様子をビデオに撮ると、発音が明瞭になっていく	H29	10
13	小	自立	1			歪み音の発音練習で、リング状のおかし教材をくわえ、歪みの少ない音を発音	H29	11
14	小	自立	1・2	「手を使ってあそぼう②」		友達のやり方を観察させたり自分の工夫を紹介させたりするための小休憩を設ける	H26	10
15	小	自立	3	注意欠陥傾向のある児童の指導		型枠にブロックを敷き詰めてその周りにある背景部分に色を塗ったり、完成した形の記録写真を撮ったりする	H21	10
16	小	自立	1	高度難聴のある児童の指導		視覚的な教材として単語や絵カードを用いる	H16	10
17	小	自立	2	注意力や社会性に問題のある児童の指導			H15	10
18	小	自立	1	吃音のある児童の指導			H13	10
19	小	自立	1	自閉的傾向のある児童の指導			H13	10
20	小	生活	1・2	はばたきタウンへようこそ		接客手順表や注文カードを使って仕事をする	H28	10
21	小	生活	1・3・4・6	自閉症・情緒障害特別支援学級	お楽しみ会をがんばろう	学級活動と本時のめあてを提示して確認できるようにする	H25	11
22	小	生活	3・6	作って食べよう(スイートポテト)		自分たちでレシピを調べ、友達と作業を分担して調理をする	H21	11
23	小	生活	3・4・5	ティーチャーストアでお買い物		品物カード作りや模擬貨幣での買い物ごっこをする	H21	11
24	小	生活	2・4・6	りんご狩りに行こう		自分たちで作った電車や駅を使って遊ぶ	H20	9

伊勢崎市優秀学習指導案 小学校

NO	校種	教科	学年	単元名(題材名)	手立て等	年度	月
25	小	生活	1～4	ボーリングゲームをしよう	役割を明確にしたり個に応じた学習プリントを用意する	H18	11
26	小	生活	2・3	お礼のカードをわたそう	紙すきをしよう	H15	11
27	小	生活	2・3・4	マラソン大会をがんばろう！	みんなでコースを確認し、目標を考えたり、招待状を書いたりする	H15	11
28	小	生活	2・5・6	友達の家遊びに行こう	ビデオを視聴したり場面ごとの写真カードを提示する	H15	10
29	小	生活	1・4・6	すごろくを作って遊ぼう	各児童の能力に応じた作り方を提示し、選ばせる	H14	11
30	小	生活	5	ホットケーキを作ろう	絵本「しろくまちゃんのほっとけーき」で見た調理の全行程を体験する	H13	11
31	小	生活	1・4・6	けぞうじこうえんへいこう	ビデオや写真で乗り物の特徴を知る	H13	5
32	小	生活	2・5・6	交流会をしよう	ほめほめシールを貼る	H13	11
33	小	生活	1・3・6	おやすみの話をしよう	休日の経験を一人ずつ友達の前で発表させる	H10	11
34	小	養護・訓練	1・2・3・5	情緒に障害のある児童の小集団指導	「やればできる」という課題をほめ認めながら体験させる	H09	12
35	小		5	高度難聴のある児童の指導		H12	10
36	小		1	力行音の誤りと吃音のある児童の指導		H11	10
37	小		2	かん黙とこだわり傾向のある児童の指導		H11	10

【令和4年度から】

NO	校種	教科	学年	単元・題材名	参考となる内容等	年度	月
38	小	図工	2・4・6	アートカードゲーム「色・形・どんな感じ？」(鑑賞)	児童の実態に合わせた手立てが具体的に示されていることが参考になる 支援学級の児童にとって、身につけさせたい力(自分の言葉を増やす)をつけさせるための授業として参考になる	R4	10
39	小	生活単元	1・3・5	買い物に行こう	子供の実態から、必要な手立てが考えられており、具体的に記述されていることが参考になる	R5	
40	小	自立活動	5・6	ことばをいかそう～「3ヒントゲーム」を通して～	個々の実態と目標が明確であり、それぞれに対する具体的な支援が記述されており、自立活動の時間の指導や取組が参考になる	R5	